

組織連携による電力調達コスト 1 億円削減への取組みについて (福岡県久留米市)

取組概要

公共施設の電力入札を効果的に進めるため、各部局がそれぞれ管理している施設のとりまとめを行うなど、新電力会社にとって魅力ある入札プランとなるよう技術系職員の電気のノウハウを活用して様々な工夫・取組みを行い、通常では入札困難とされるプラント系の施設も含め、99施設の電力入札及び**1億円を超える電力調達コスト削減に成功した。**

取組の効果

- 全ての入札で4～7社の入札参加者を確保し、**1億1351万9千円/年のコスト削減**
- 契約メニューの見直しを行い、**408万3千円/年のコスト削減**
- 各部局の入札事務や、新電力会社側の対応窓口を都市建設部設備課に一本化
⇒ 窓口一本化で新電力会社の事務負担の軽減
入札事務一本化による各部入札事務量の削減
⇒ **入札事務削減時間＝約900(時間/年)**

創意・工夫した点

- 部局の壁を超えた取組み
⇒ 施設をスケールメリットに配慮した部局横断的な4つのグルーピング
- 技術系職員のノウハウを活用
⇒ 『総合負荷率』による検証や『部分供給方式』による入札
- 新電力会社への配慮
⇒ 入札前の意向確認、入札時期の検討、対応窓口の一本化



人口 306,706人(H28.7.1現在)

担当 都市建設部設備課

他団体へのアドバイス

電力入札は、新電力会社に魅力を感じてもらえるプランニングが必要になります。他の自治体でも活用できる久留米市方式のノウハウを提供いたします！ぜひ参考にして頂き、入札プランを上手に組み立て、多額のコスト削減に繋げて頂ければと思います♪